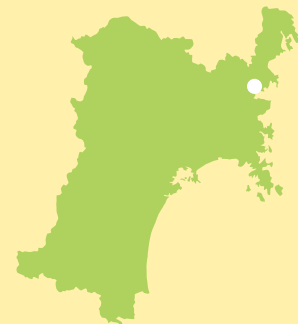



有限会社山藤運輸



- 本社所在地 宮城県本吉郡南三陸町
志津川字沼田 141-3
- 主な事業内容 貨物運送業
- 従業員数 49人

 健康経営優良法人認定
2020～2022 認定（2022はブライト500）

健康経営に取り組むきっかけ

運送業界は残業が多く休日出勤もあります。ニュースでは心筋梗塞や脳梗塞などの健康起因事故を最近よく耳にします。もし事故があったら社会的影響も大きく危機感を感じました。業務改善を進めていくにあたり、コーポレートスローガンやビジョンを定め社員と共有し、その一つに「社員みんなが笑顔で働き続けられる企業」を目指すため、健康第一を念頭に進めていくことにしました。しかしながら成果も出てきた矢先に社員が重篤な病気となり、退職を余儀なくされました。社員の健康意識を高めなければと思い、さらに上位の健康経営優良法人認定に取り組ましました。



各種認定証

注力している取り組み

定期健診は受診率100%、夜勤者には年2回受けさせます。産業保健センターの医師の個別訪問で社員やドライバーへの健康面談を実施し、さらに年2～3回の賞与の際にも面談で健康チェックをしています。社内に血圧計を設置し、継続して記録を残し健康管理に役立てています。

働き方改革の推進、残業時間の削減、週休二日制の推進、有給休暇取得促進に取り組んでいます。女性のドライバーも働ける職場を目指し、ハラスメント対策を実施しました。

健康には運動も大切なので、会社としての町民運動会への参加、社内の体力測定、毎朝のラジオ体操、南三陸ベイサイドアリーナのジム無料券を配布など、運動への意識づけを行っています。

また、食生活改善については、環境事業部において農業も営んでいるので、出来たお米や野菜を福利厚生の一環で配布したり、「野菜たっ



社内体力測定



収穫された野菜の配布

ぷり豚汁」を振舞うことで、社員同士のコミュニケーションにも役立っています。

取り組みの課題

ドライバーの高齢化や人材不足が課題でしたが、近年は若者が定着し、現在ではパートを含めて平均年齢が40代半ばぐらいになりました。社員の健康意識は上がってきていますが、完全に浸透しているわけではないことから、全員に徹底させるためには粘り強くやっていくことが必要と感じています。



ジムトレーニング

取り組みの効果

禁煙チャレンジの成功者が5名出ました。また、体重の多かった社員が30キロ減量するなど健康診断の結果から良くなったのがわかります。

安全衛生委員会を設置し、衛生管理者を社内に置き人材育成にも力を入れたことで、社員から前向きな意見が出るようになりました。コミュニケーションも良くなり、働きやすくなったとの声も聞こえてきます。

健康アンケートを実施して4年目になりますが、健康意識調査のフィードバックを受け傾向と変化を把握し、改善が見えてきました。社員も健康系のセミナーに積極的に参加し、治療と仕事の両立支援コーディネーターの資格を取得するなど社員が自主的に考え行動するようになってきています。

今後の展望をお聞きしました！

会社として脳ドックやがん検診などに対して、助成を出せるかを検討しています。脳に関する病気やがんは見つかるとう退職につながる恐れもありますが、将来的には治療と仕事の両立ができる職場環境を実現したいと思います。健康経営優良法人については、取得することが目的ではなく、社員が健康で働き続けられることを目的に今後も継続していきたいと思っています。



代表取締役
佐藤克哉 氏